

複合災害を想定した大規模土砂災害合同防災訓練を実施

～大規模災害に備え、関係機関と連携した防災行動を確認・共有しました～

国土交通省松本砂防事務所では、地域の安全・安心確保のため管内の関係行政機関とともに土砂災害発生時に
対し迅速な対応が行えるよう、毎年防災訓練を実施しています。令和7年度は糸魚川市において強震度の地震に
よる同時多発的な土砂災害と、地震発生後の豪雨によって発生・拡大する土砂災害（複合災害）を想定し、関係
機関の連携などの対応について訓練を実施しました。

日 時：令和7年7月10日（木）13:30～16:20

参加機関：糸魚川市、新潟県、新潟地方気象台、北陸地方整備局、
松本砂防事務所 他 計47名 ※一部機関はリモートにて参加

メイン会場：糸魚川市ふれあいセンター ビーチホールまがたま

訓練方式：学習型訓練

災害想定：○強震度の地震に起因する河道閉塞・地すべり
○地震発生後の豪雨※によって拡大する土砂災害（複合災害）
※）平成7年7月11日豪雨災害相当を想定

訓練状況



河道閉塞発生状況（地上調査結果）
糸魚川地域振興局の現地派遣職員が田海川の左岸側が大規模に崩壊し、河道閉塞が形成されていることを確認
・河道閉塞の長さ：約100m
・河道閉塞下流には人家が10戸以上ある。
・通行車両なし。
・河床崩壊の大量の土砂が田海川上流の河道を完全に閉塞し、扇状地からの湧水は確認されない。



リモート参加



講評（糸魚川市長）

本訓練を通じ、災害時の意思決定は人命の救助に直結することから、責任の重大さを痛感した。的確な行動をとるため、地域特性を踏まえた上での様々な思案が必要である。今後も関係機関と連携を深めることで災害時の対応力の強化に尽力したい。



糸魚川市長
久保田郁夫氏

参加職員によるふりかえり



大規模土砂災害発生時における各機関との連携や情報共有の流れを確認することができた。訓練での学びを活かして防災力の向上を図りたい。